

第2章 現況調査

2-1 自然的条件調査

1. 気象

気温は年間を通じて温暖であり、年平均気温は 16℃前後になっています。

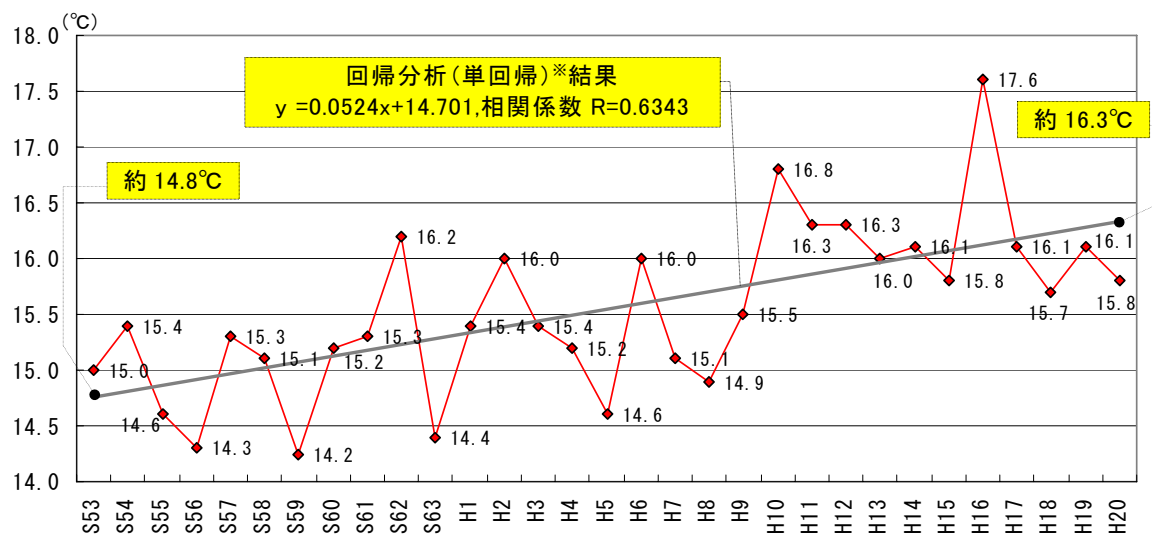
過去 30 年間の年平均気温の変動をみると、下記グラフに示すように、年毎に変動はあるものの、上昇傾向にあると言えます（単回帰による近似曲線によると、約 1.5℃の上昇となります）。

年間総降水量は、過去 10 年間では 923.5～1,916.5 mmとなっており、「平成 20 年 8 月末豪雨」のあった 2008 年の日最高雨量 264.5 mmは、約 30 年間で最大となっています。

■ 気象状況

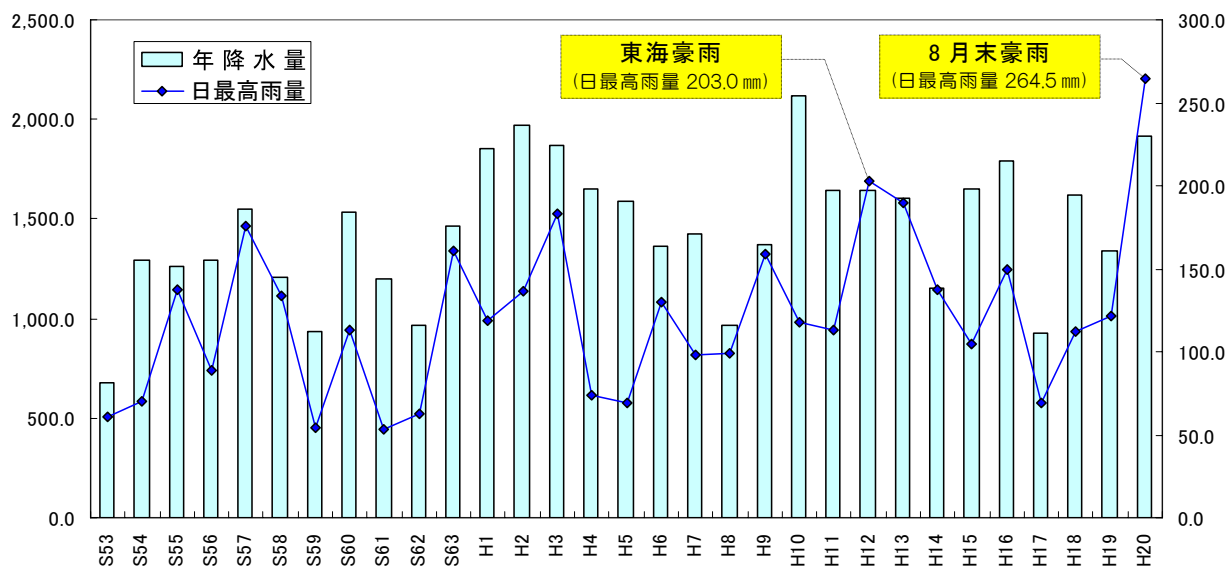
項目	30年前	20年前	10年前	過去10年間									
	S53 1978	S63 1988	H10 1998	H11 1999	H12 2000	H13 2001	H14 2002	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008
年平均気温(℃)	15.0	14.4	16.8	16.3	16.3	16.0	16.1	15.8	17.6	16.1	15.7	16.1	15.8
年平均最高気温(℃)	24.9	23.8	27.9	26.3	26.3	27.7	26.9	26.9	28.7	27.3	25.3	25.9	25.5
年平均最低気温(℃)	5.2	5.9	7.5	7.0	7.0	6.1	6.3	6.0	8.2	6.4	7.0	6.7	6.4
年間降水量(mm)	678.9	1,467.5	2,116.5	1,645.5	1,645.5	1,604.5	1,149.5	1,648.0	1,793.5	923.5	1,622.5	1,341.0	1,916.5
日最高雨量(mm)	61.0	160.5	117.5	113.0	203.0	190.0	137.5	105.0	149.5	69.0	112.0	121.5	264.5

資料：こうたの統計等（観測地は幸田町消防署）



■ 年平均気温の推移 (1978～2008 年の約 30 年間)

※回帰分析(単回帰)は、結果となる数値(この場合は温度)と要因となる数値(この場合は年度)の関係を調べ、それぞれの関係を明らかにする統計的手法の一つです。相関係数 0.6343 は一般的に「かなり高い相関がある ($0.5 < R < 0.7$)」に分類されます。

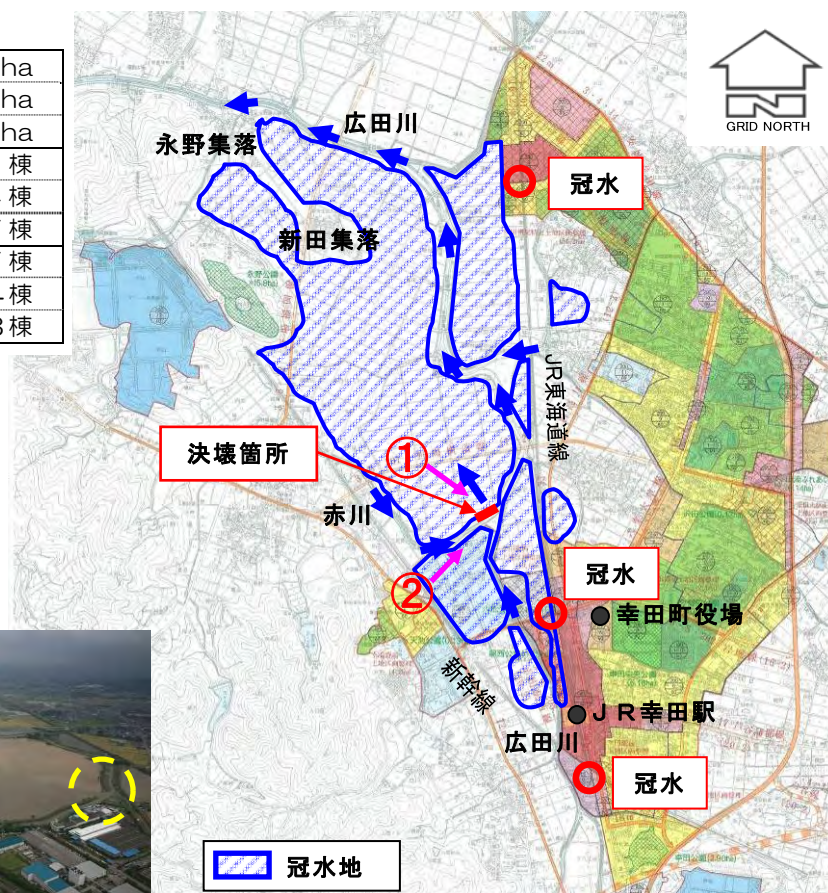


■年降水量及び日最高雨量の推移（1980～2008年の約30年間）

●平成20年8月末豪雨の被害状況（資料：町資料）

□被害状況

冠水被害	212ha
・田	210ha
・畑	2ha
床上浸水	61棟
・住家	24棟
・非住家	37棟
床下浸水	67棟
・住家	64棟
・非住家	3棟

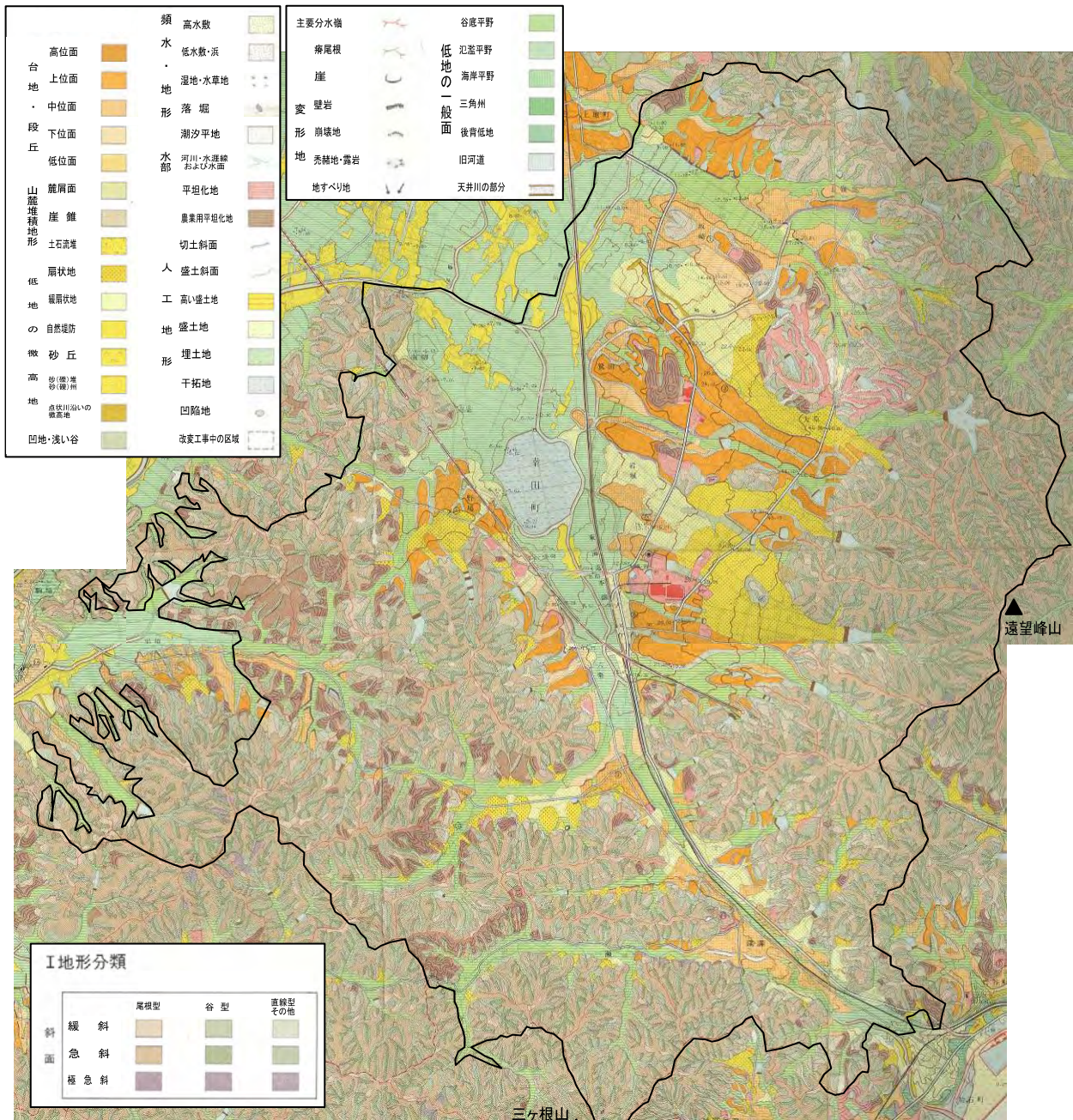


※「平成20年8月末豪雨」は、本町において時間最大雨量116mmを記録するなど、短時間の非常に激しい雨が降り、農地等の冠水や床上・床下浸水の被害等が生じました。

2. 地形

本町は、東西約 10.25km、南北約 10.55kmの広がりを持ち、総面積 56.78 km²となっています。

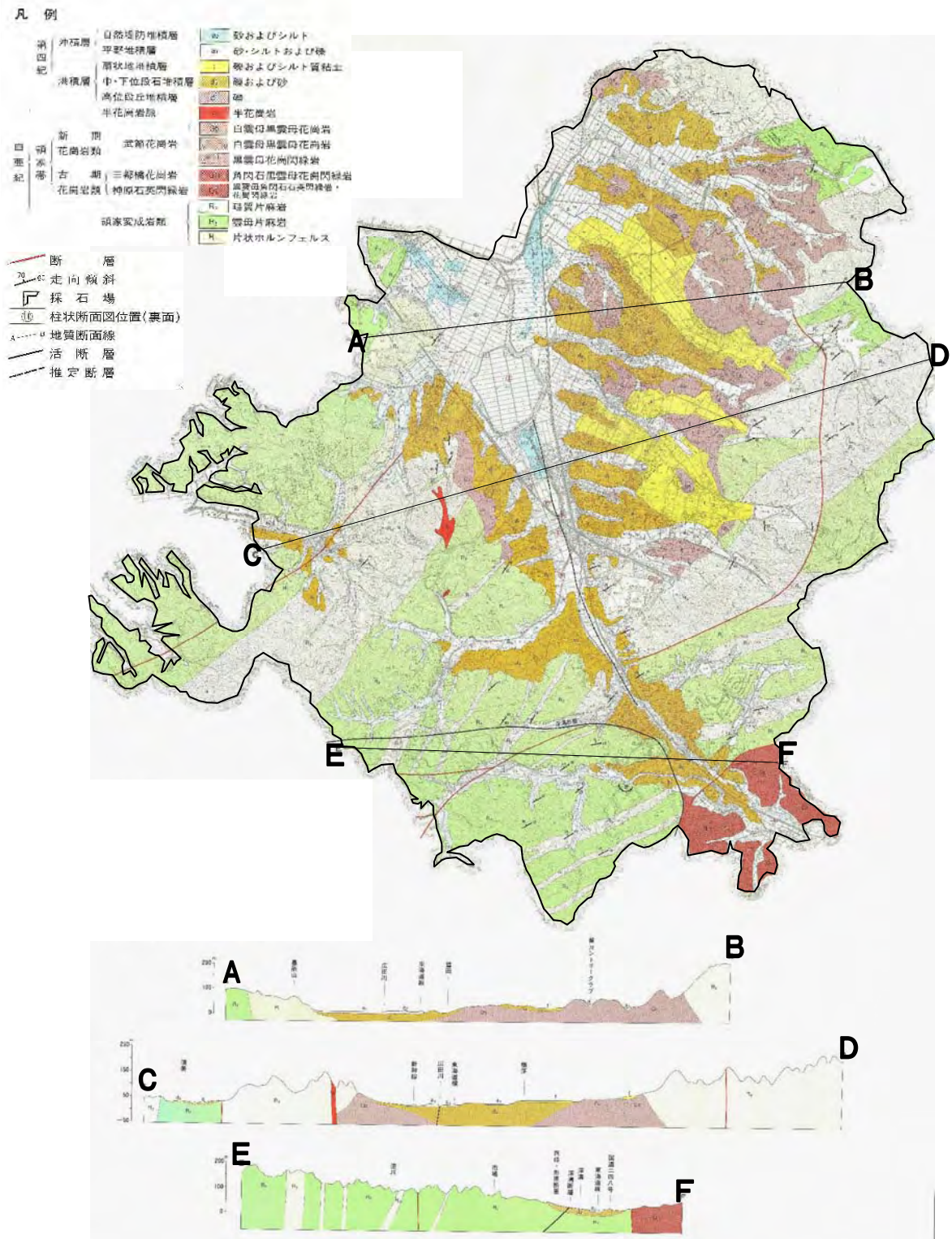
本町の地形は、東部の遠望峰山（標高 435.4m）、南部の三ヶ根山（標高 325.7m）を中心とする山地並びにこれらの谷間を流れる一級河川広田川、二級河川拾石川沿いの丘陵地並びに一級河川広田川下流域の低地に大別されます。



■土地条件図

3. 地質・土壤

本町の地質は、町の中央部から北北西にかけて軟弱で地下水位の高い沖積平野が広がっています。その周辺は台地や山地となっていますが、風化花崗岩が広範囲にわたって山地・丘陵地を覆い集中豪雨等による崩壊の危険性があります。



■地質図

資料：幸田町地質図

4. 緑の現況

(1) 緑の量

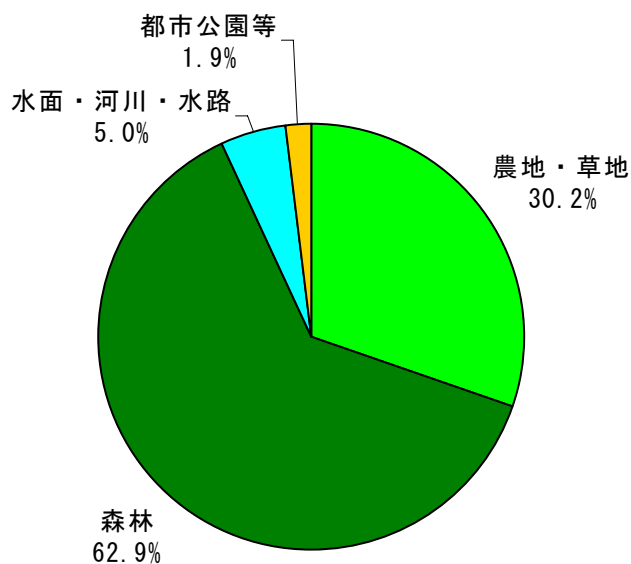
本町の緑の面積は 3,881ha で、行政区域面積 5,678ha の 68.4%を占めています（ここでいう緑は、下表に示した「農地・草地」「森林」「水面・河川・水路」「都市公園等」を対象としています）。

この緑のうち、森林が 62.9%と最も多く、次いで農地・草地の 30.2%、水面・河川・水路の 5.0%、都市公園等の 1.9%となっています。

■緑の面積

種 別	面積(ha)	割合	備 考
農地・草地	1,172	30.2	
森林	2,443	62.9	
水面・河川・水路	193	5.0	
都市公園等	73	1.9	都市公園：42.44ha 公共施設緑地：32.38ha
合 計	3,881	100.0%	行政区域面積5,678haに占める割合は、68.4%

資料：農地・草地、森林、水面・河川・水路は平成 20 年版土地に関する統計年報
都市公園等の都市公園は幸田町の都市計画（平成 21 年 4 月作成）、
公共施設緑地は、後述の「2-3 緑地現況・緑化状況調査」による

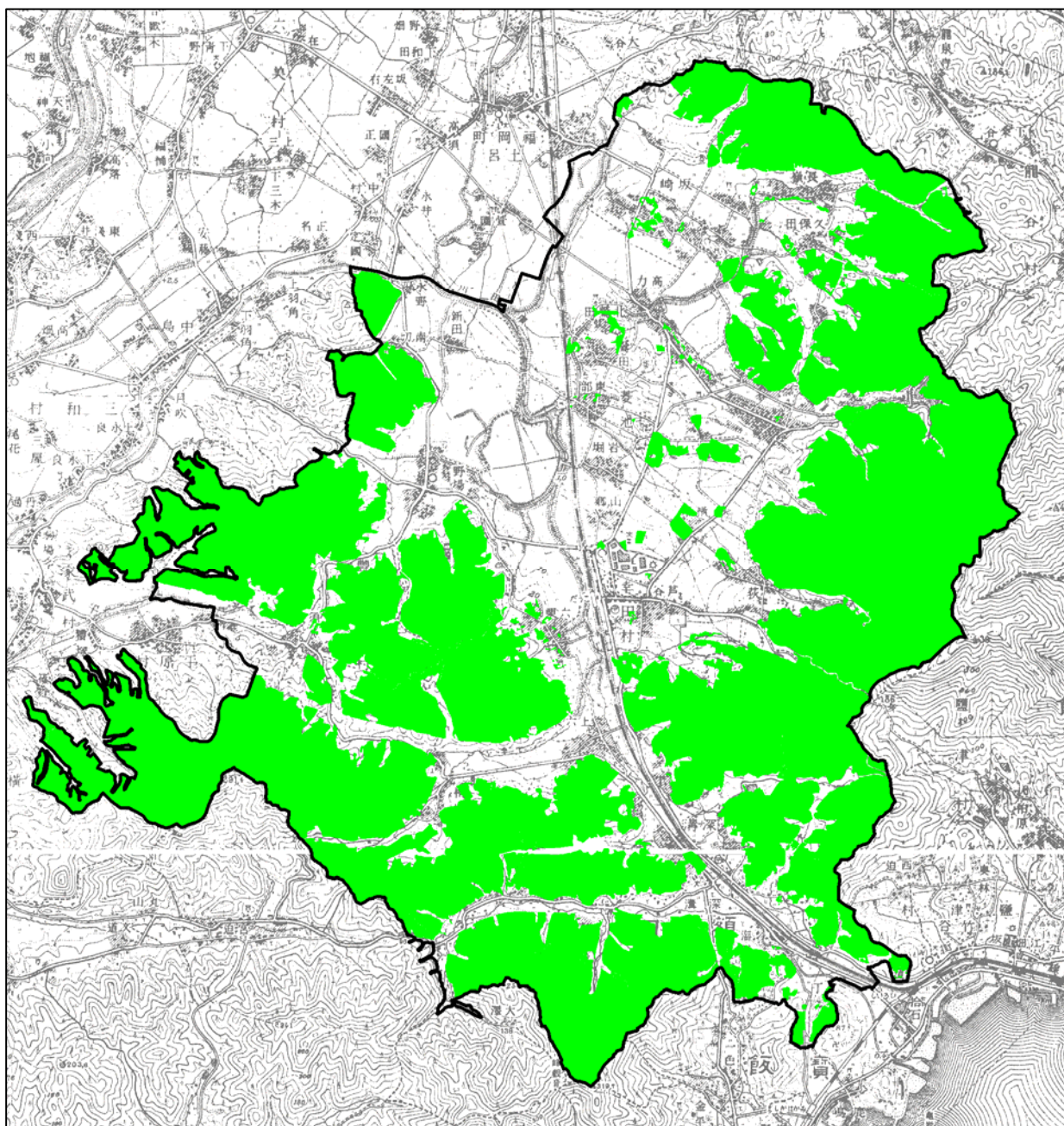


■緑の構成

（２）森林面積の推移

本町の森林面積は、人口の増加に伴う宅地開発や農地開発等により、昭和 23 年から昭和 48 年の 25 年間で約 396ha（年平均約 16ha）、昭和 48 年から平成 19 年の 34 年間で約 346ha（年平均約 10ha）の森林がなくなりました。

近年（平成 11 年から平成 20 年）においては、第 4 次総合計画（平成 8 年）で掲げた 3 駅プラス 1 を核としたコンパクトな市街地形成の取り組みなどから森林部での開発が減少しており、森林面積の減少は約 18ha（年平均約 2ha）となっています。



■昭和 23 年（1948 年）の森林の状況

■森林面積の推移（過去 60 年）

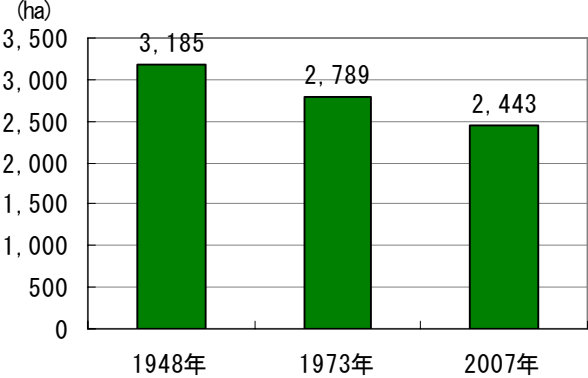
	昭和23年 (1948)	昭和48年 (1973)	平成19年 (2007)	備考
森林面積 (ha)	3,185 (-)	2,789 (-396)	2,443 (-345)	上段は実数 下段は増減

資料：昭和 23 年は地形図をもとに図上求積により算出
昭和 48 年は町資料
平成 19 年は土地に関する統計年報

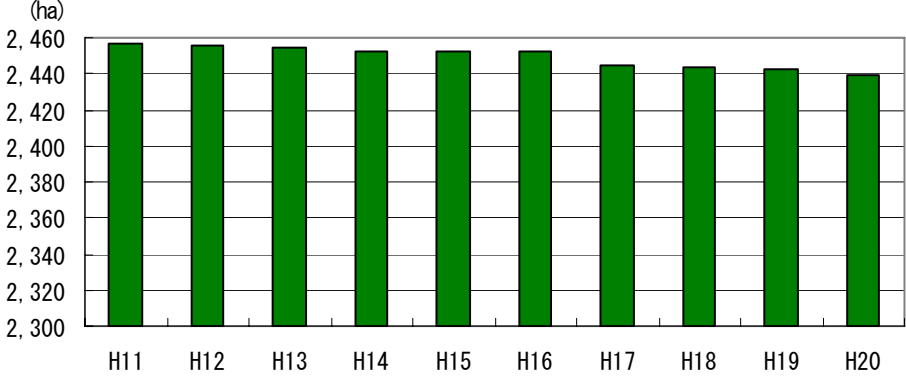
■森林面積の推移（過去 10 年）

	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	備考
森林面積 (ha)	2,457 (-)	2,456 (-1)	2,455 (-1)	2,452 (-3)	2,452 (0)	2,452 (0)	2,445 (-7)	2,444 (-1)	2,443 (-1)	2,439 (-4)	上段は実数 下段は増減

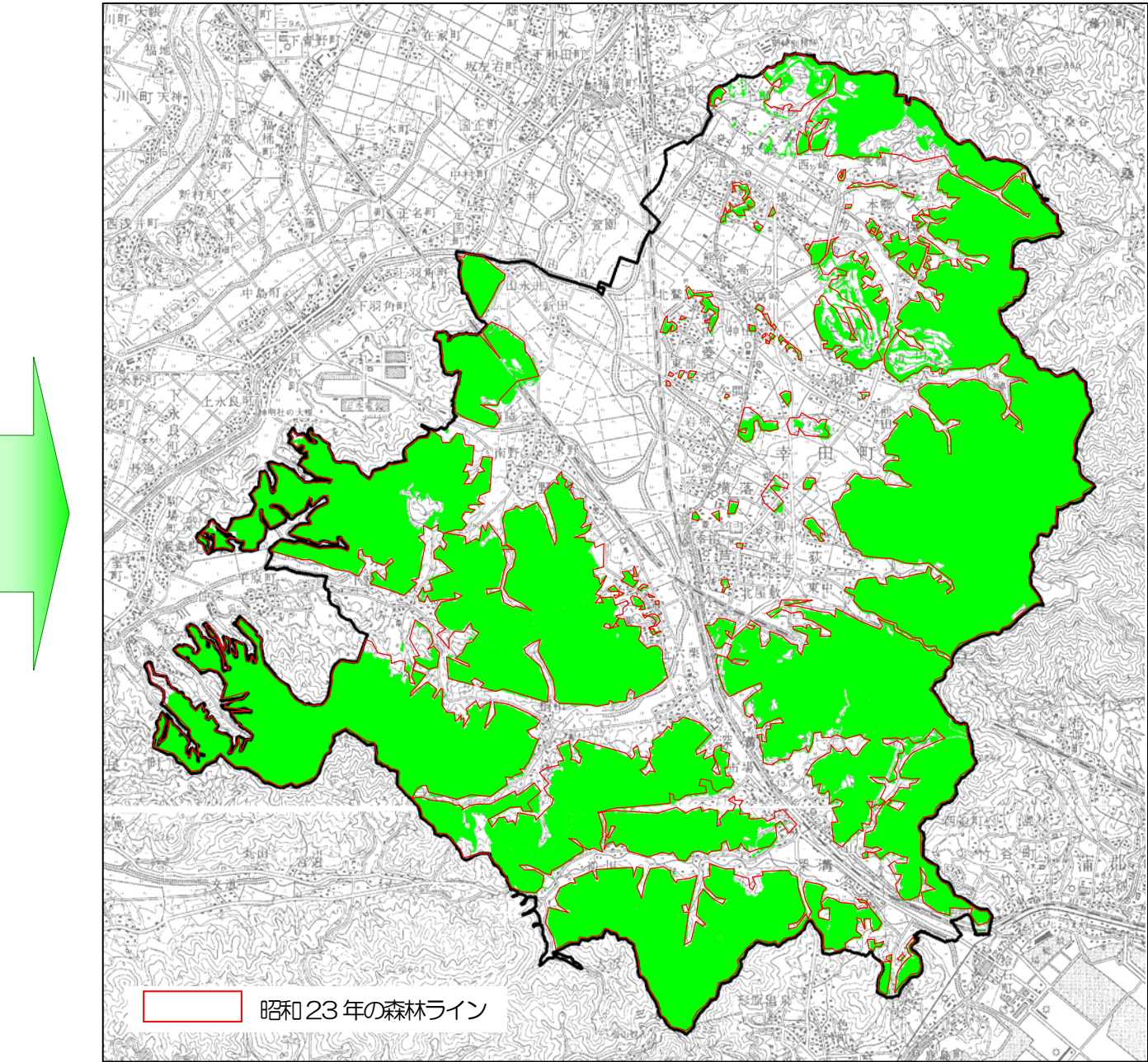
資料：愛知県林業統計書



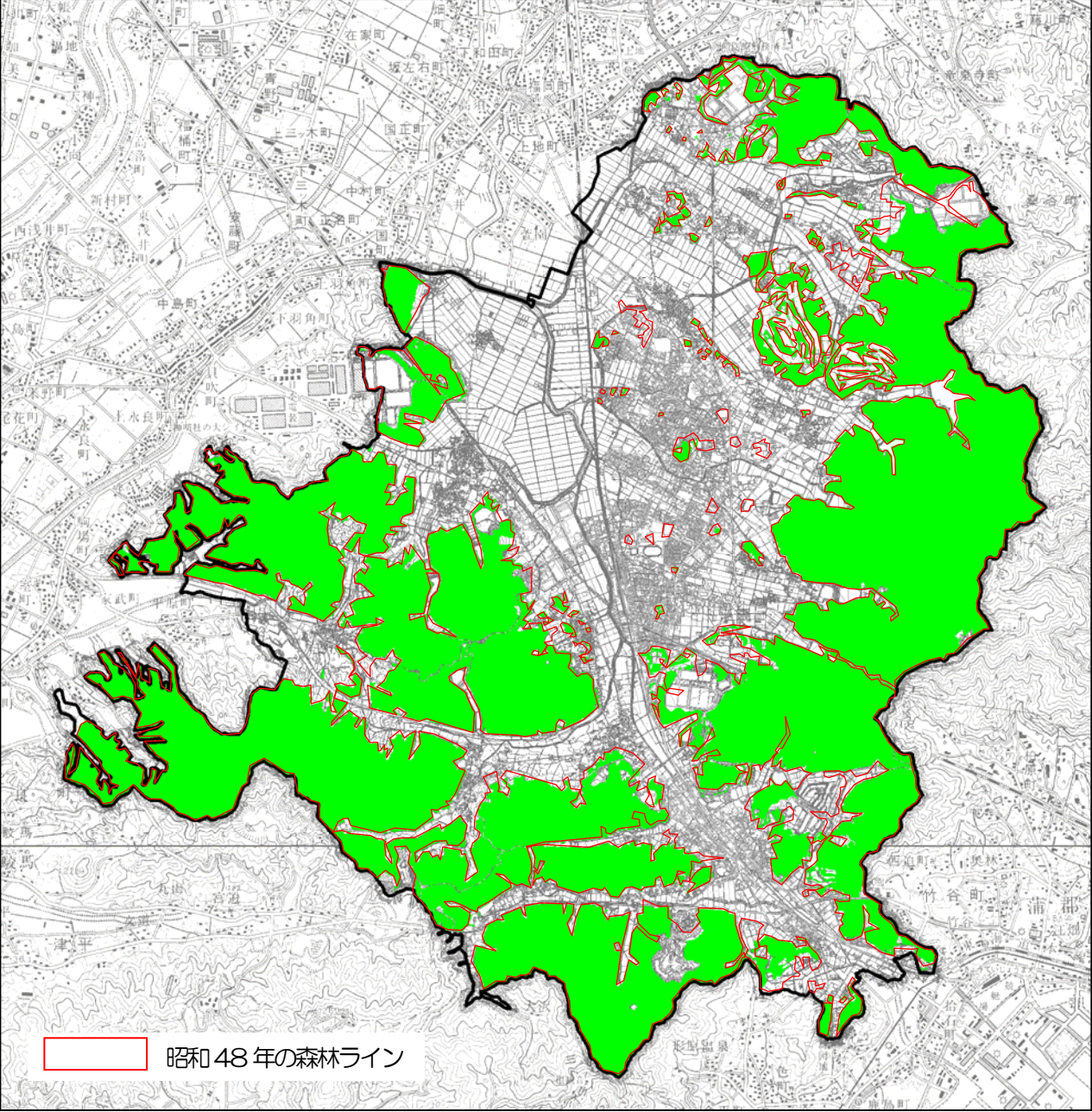
■森林面積の推移（過去 60 年間）



■森林面積の推移（過去 10 年間）



■昭和 48 年（1973 年）の森林の状況

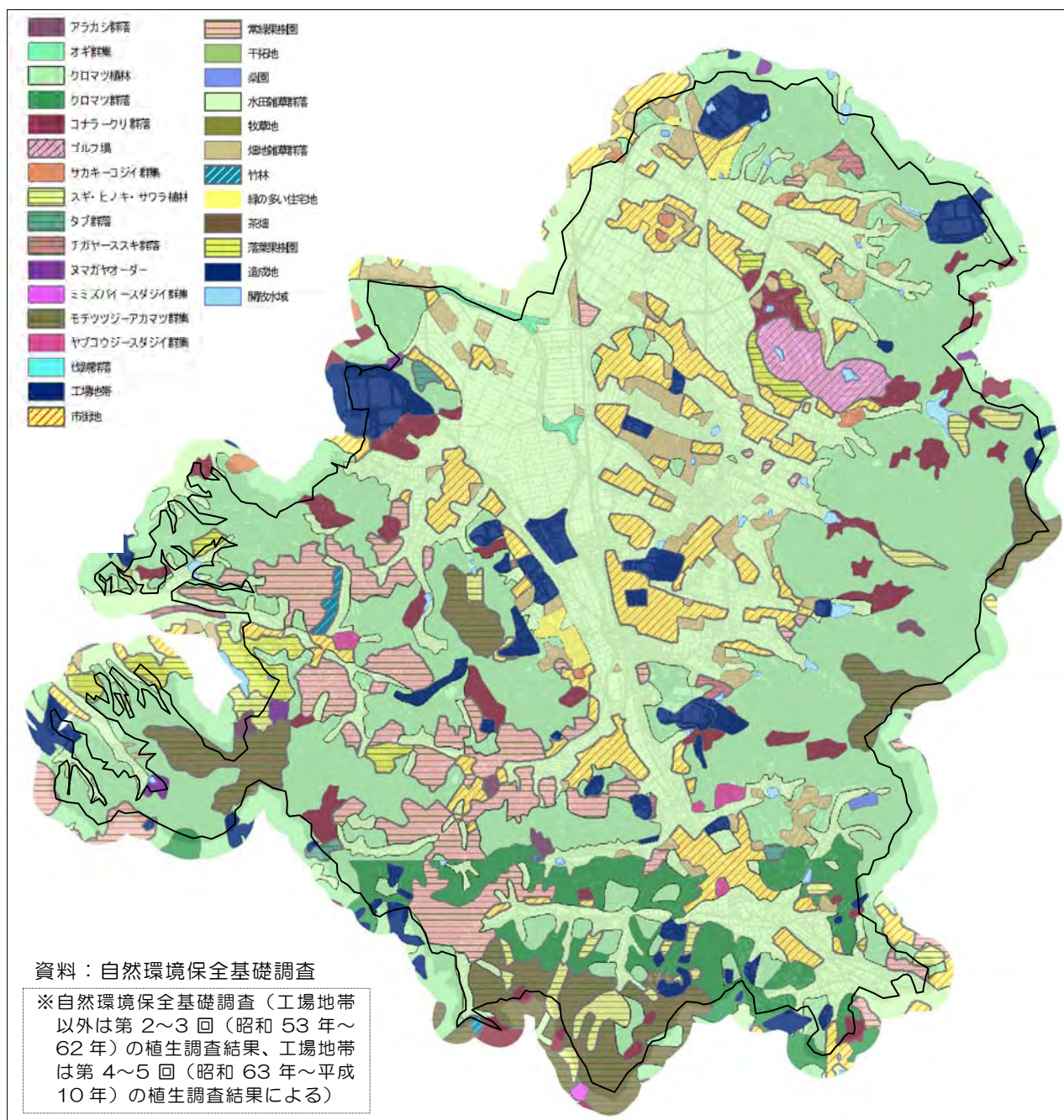


■平成 19 年（2007 年）の森林の状況

(3) 植生

本町の植生は、自然環境保全基礎調査によれば、市街地の周辺は水田が取り巻き、その外周は樹林地や畑地となっています。樹林地は市街地東部及び南西部に広く分布し、クロマツの植林にまじりアラカシ群落、モチツツジ・アカマツ群落、コナラ・クリ群落などがみられ、特に南部ではクロマツ群落が広がっています。果樹園は本町南西部に多くみられます。

近年では、クロマツ群落が減少し竹林が広がるなど、植生の変化が見られます。



5. 水系

本町の流域は大きく3つに分かれており、矢作川流域に属する一級河川広田川流域及び一級河川須美川流域があわせて約9割、南部の三河湾に流下する二級河川拾石川流域が残りの約1割となっています。

柳川に柳川遊水地があるほか、丘陵部に多くのため池があります。また、広田川に菱池遊水地の整備が予定されています。

河川はオープンスペースとしての環境形成とあわせ、赤川、石川、光明寺川の一部で親水化や多自然川づくり等による環境整備が行われています。



■相見川（東側は鷺田神明宮社寺林）



■赤川＜石積護岸＞（愛知県HPより）



■大井池（町HPより）



■釜ヶ石池

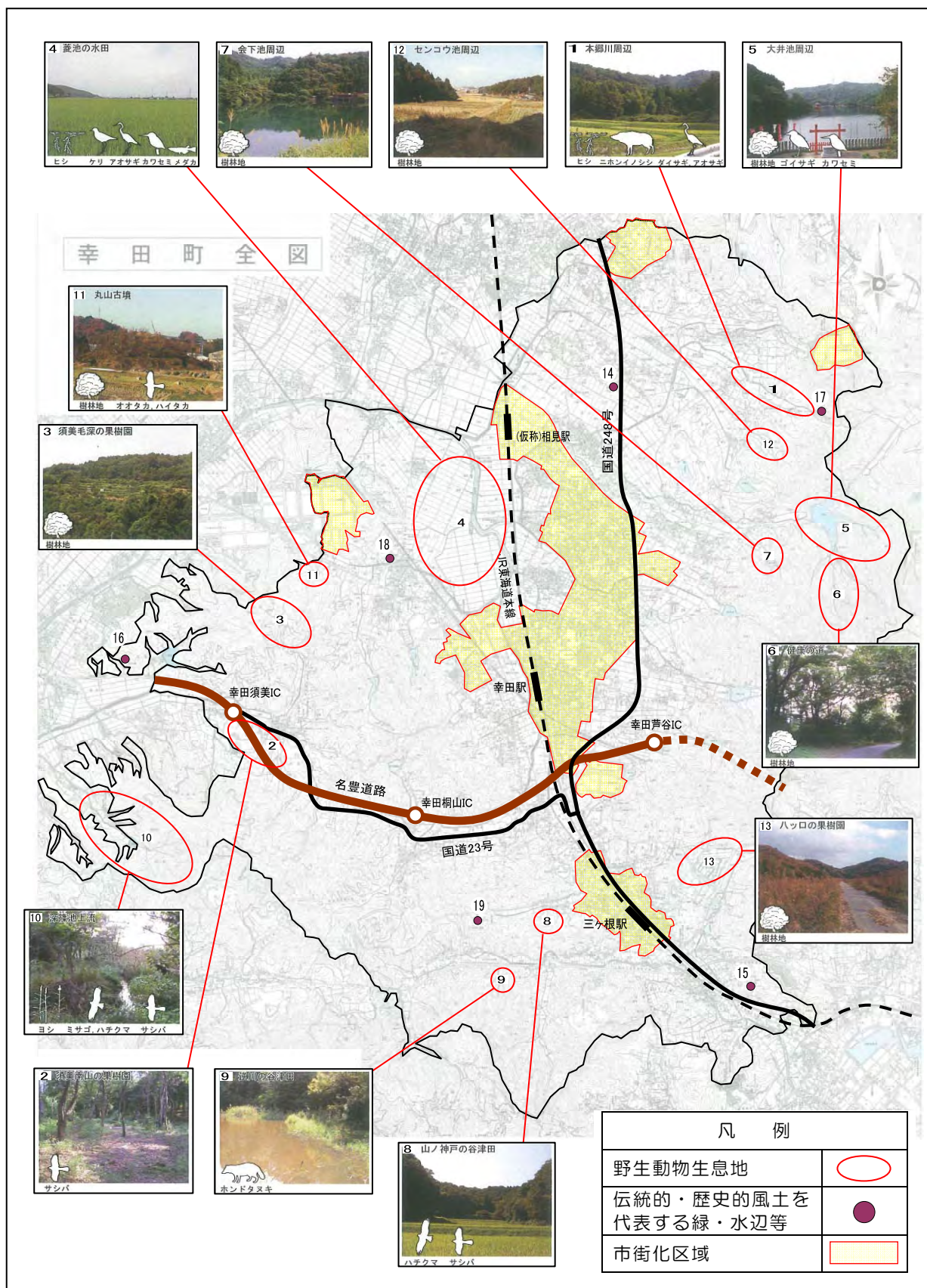
6. 良好な自然特性

本町の土地自然特性は、幸田町環境基本計画動植物調査から「良好な野生動物生息地」を、幸田町の文化財の「天然記念物、史跡」から「伝統的・歴史的風土を代表する緑・水辺等」を抽出しました。

■土地自然特性調書

種 別	図面 番号	名 称	主な内容
野生動物 生息地	1	本郷川周辺	・ニホンイノシシ、ダイサギ、アオサギなどが生息する里山的要素が強い、良好な水田地帯です。
	2	須美南山の果樹園	・サシバなどが生息する良く手入れされた果樹園と樹林地で、動物の良好な生息環境です。
	3	須美毛深の果樹園	・良く手入れされた果樹園と樹林地で、動物の良好な生息環境です。
	4	菱池の水田	・チュウサギ、アオサギ、ケリ、カワセミ、メダカなどが生息する比較的良好な水田地帯です。
	5	大井池周辺	・ゴイサギ、カワセミなどが生息する樹林に囲まれた水面の広い池です。
	6	健康の道周辺	・樹林(一部良好な樹林)です。
	7	会下池周辺	・比較的に里山的要素の強い池です。
	8	山ノ神戸の谷津田	・ハチクマサシバ小規模な谷津で環境は良好です。
	9	逆川の谷津田	・小規模な谷津で環境は良好です。
	10	深篠池上流	・湿性地、良好な樹林です。
	11	丸山古墳 (町指定文化財)	・上流の沢より水が流入する湿田状の田の残る田園となっています。水田内にはイヌビエなどが多く休耕田は一部ハンノキが生育する里山の風景です。
	12	センコウ池周辺	・護岸された小規模なため池です。水路は土砂の堆積が多く、植生も多い状況です。谷上流は比較的良好な水田が多く、周辺は常緑広葉樹林となっています。
	13	ハッ口の果樹園	・広い果樹園と畑が、谷及び斜面に広がっています。果樹園周辺は整備された草地となっています。
伝統的・ 歴史的風 土を代表 する緑・ 水辺等	14	青塚古墳 (町指定文化財)	・前方後円墳。六世紀初頭の築造と推定され、出土遺品には、直刀、硝子製小玉、金銅袴鹿角製柄頭、水鳥埴輪、及び人骨があります。
	15	日向山古墳 (町指定文化財)	・深溝・矢崎の標高 70m の日向山山頂にある半径 10m 前後の円墳。一望できる位の高台にあり、周辺に数多くの古墳があることから、かなりの豪族のものと考えられています。
	16	須美第6号古墳 (町指定文化財)	・須美字平松にある古墳です。
	17	百皿古窯跡群 (町指定文化財)	・山の斜面を利用して、茶碗、鉢、燈明皿、かめなどの日用雑器を焼いた。この跡では煙り出しの部分も確認でき、山林の中に山茶碗や燈明皿の破片が散布しています。
	18	野場西城土塁 (町指定文化財)	・野場城の城跡の土塁です。
	19	深溝断層 (県指定文化財)	・昭和 20 年 1 月 13 日午前 3 時 30 分ごろマグニチュード 7.1 の三河地震で出来た断層で最高落差約 2m 最高左横ずれ 1.3m の顕著な断層が生じたものです。

資料：「幸田町環境基本計画動植物調査（平成 15 年度）」及び「幸田町の文化財」



■土地自然特性図

7. 巨木調査

平成 21 年 7 月現在の調査によれば、社寺を中心に巨木が 36 本（16 箇所）あり、地域固有の歴史的景観資源となっています。

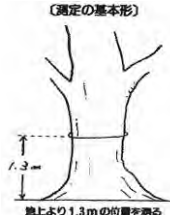
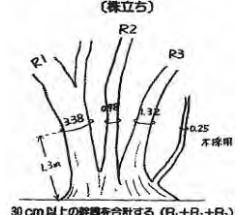
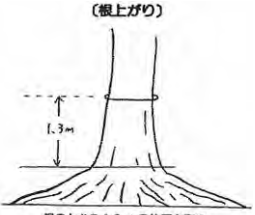
■ 幸田の巨木

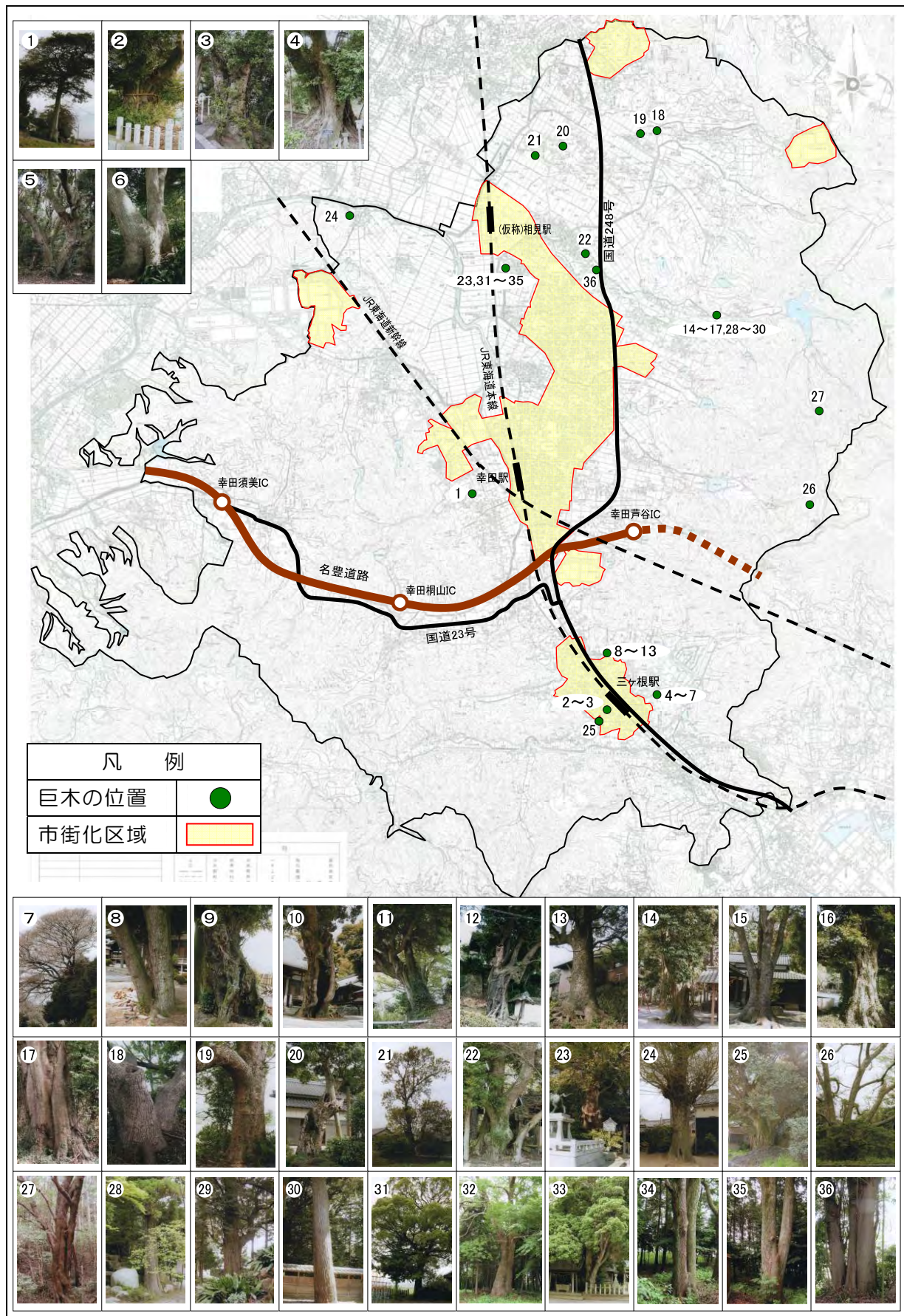
（平成 21 年 7 月現在、近藤守氏 資料提供）

No	樹種名	科名	所在地	所有者※1	胸高幹周り※2	確認日
1	クロガネモチ	モチノキ科	六栗字山屋敷	—	325 cm	H19.3.2
2	スダジイ	ブナ科	深溝字南道祖神	御祖神社	380 cm	//
3	ヤマモモ	ヤマモモ科	//	//	計 375 cm	//
4	スダジイ	ブナ科	深溝字内山	本光寺	計 435 cm	//
5	ヤマモモ	ヤマモモ科	//	//	計 715 cm	//
6	クスノキ	クスノキ科	//	//	計 540 cm	//
7	ヤマザクラ	バラ科	//	//	計 397 cm	//
8	スダジイ	ブナ科	深溝字誉師	長満寺	計 442 cm	//
9	スダジイ	ブナ科	//	//	計 340 cm	//
10	スダジイ	ブナ科	//	//	計 500 cm	//
11	スダジイ	ブナ科	//	//	計 433 cm	//
12	スダジイ	ブナ科	//	//	計 406 cm	//
13	クスノキ	クスノキ科	//	//	498 cm	//
14	アラカシ	ブナ科	大草字弥宜屋敷	大草神社	365 cm	//
15	クスノキ	クスノキ科	//	//	320 cm	//
16	スダジイ	ブナ科	//	//	432 cm	//
17	スダジイ	ブナ科	//	//	312 cm	//
18	クスノキ	クスノキ科	長嶺字神宮司	三村神社	計 680 cm	//
19	クスノキ	クスノキ科	坂崎字神宮司	稲荷神社	330 cm	//
20	シラカシ	ブナ科	坂崎字小道	圓行寺	362 cm	//
21	アベマキ	ブナ科	坂崎字櫓畑	—	322 cm	//
22	スダジイ	ブナ科	大草字下	—	480 cm	//
23	クスノキ	クスノキ科	鷺田字鷺取	鷺田神明宮	322 cm	//
24	イチョウ	イチョウ科	永野字山川間	東覚寺	363 cm	//
25	スダジイ	ブナ科	深溝字狭間	—	450 cm	H21.4.7
26	コナラ	ブナ科	荻字伐岩	—	計 449 cm	//
27	ヤマザクラ	バラ科	大草字鷺ヶ入	—	304 cm	//
28	スギ	スギ科	大草字弥宜屋敷	大草神社	305 cm	//
29	スダジイ	ブナ科	//	//	326 cm	//
30	スギ	スギ科	//	//	320 cm	//
31	クスノキ	クスノキ科	菱池字鷺取	鷺田神明宮	306 cm	H21.7.5
32	クスノキ	クスノキ科	//	//	382 cm	//
33	ヤマモモ	ヤマモモ科	//	//	308 cm	//
34	クスノキ	クスノキ科	//	//	計 377 cm	//
35	クスノキ	クスノキ科	//	//	324 cm	//
36	スダジイ	ブナ科	大草字寺西	—	計 366 cm	//

※1：個人所有者及び所有者不明は—とした。※2：複数本株立ちのものは、計〇〇〇cmとした。

□ 巨木の定義

基本形のもの	複数本株立ちのもの	根上がりのもの
地上から 1.3m の位置の幹の周りが ≥ 300 cm のもの。	主となる幹の周りが ≥ 200 cm であり、周りが 30 cm 以上の幹の合計が ≥ 300 cm のもの。	根が出た箇所から 1.3m の位置の幹の周りが ≥ 300 cm のもの。
		



■ 巨木調査図

2-2 社会的条件調査

1. 人口・面積

(1) 人口

平成 20 年 10 月 1 日現在の本町の人口は 37,269 人、世帯数は 12,990 戸となっており、増加傾向を示しています（国勢調査及び住民基本台帳等）。

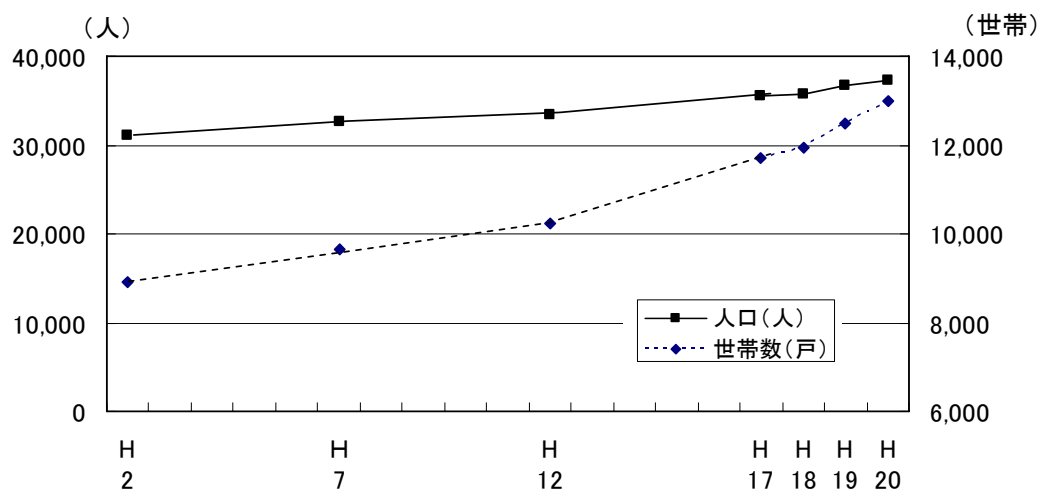
本町の年齢別人口（平成 17 年）は、0～14 歳が 16.3%、15～64 歳が 68.6%、65 歳以上が 15.0%となっており、県平均と比べ 0～14 歳人口及び、15～64 歳人口の比率が高く、逆に 65 歳以上の割合は低いことから、県平均よりは少子高齢化の進行が遅いといえますが、確実に進行しています（国勢調査）。

■人口・世帯数の推移

各年 10 月 1 日現在

区 分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
人口（人）	31,004	32,711	33,408	35,596	35,729	36,635	37,269
世帯数（戸）	8,908	9,638	10,216	11,715	11,956	12,491	12,990

※平成 17 年までは国勢調査、平成 18 年以降は住民基本台帳等による。 資料：町HP等



■人口・世帯数の推移

■年齢別人口の推移

各年 10 月 1 日

年 次	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上	
	人 口	比率 (%)	人 口	比率 (%)	人 口	比率 (%)
平成 2 年	6,286	20.3	21,783	70.3	2,935	9.5
平成 7 年	5,983	18.3	23,101	70.6	3,627	11.1
平成 12 年	5,664	17.0	23,334	69.8	4,410	13.1
平成 17 年	5,797	16.3	24,430	68.6	5,369	15.0
県 平 均	—	14.7	—	67.6	—	17.2

※年齢不詳は含まない

資料：こうたの統計（国勢調査）

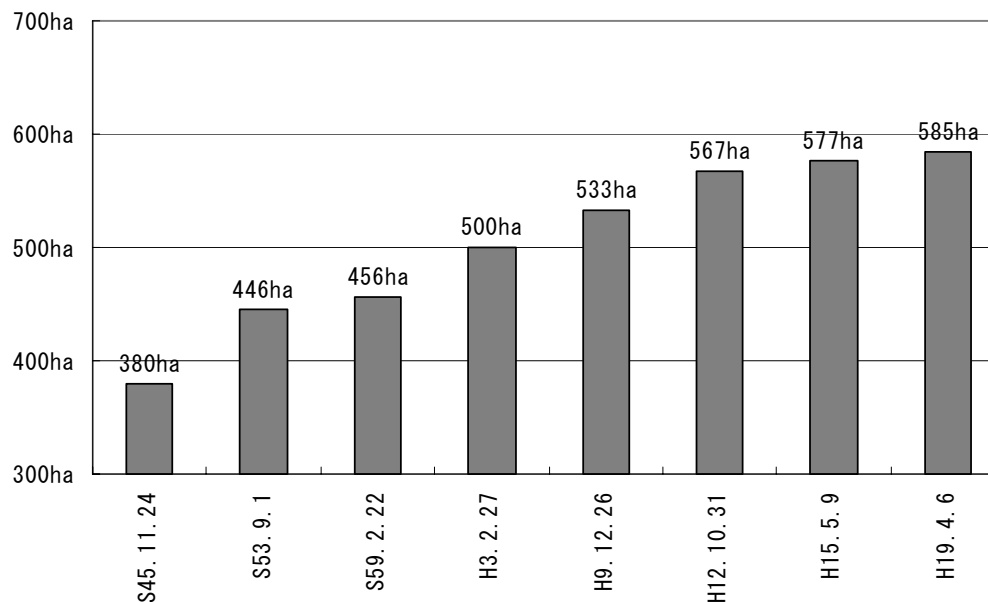
(2) 面積

本町の市街化区域面積は、人口の増加とともに拡大しており、平成 21 年 4 月現在 585ha で、行政区域面積 5,678ha の 10.3%を占めています。

■市街化区域面積、市街化調整区域面積等の推移

年月日	市街化区域面積	市街化調整区域面積	行政区域面積	備考
S45.11.24	380ha 6.8%	5,186ha 93.2%	5,566ha 100.0%	決定
S53.9.1	446ha 8.0%	5,120ha 92.0%	5,566ha 100.0%	第1回見直し
S59.2.22	456ha 8.2%	5,110ha 91.8%	5,566ha 100.0%	第2回見直し
H3.2.27	500ha 8.8%	5,178ha 91.2%	5,678ha 100.0%	第3回見直し
H9.12.26	533ha 9.4%	5,145ha 90.6%	5,678ha 100.0%	保留解除 (相見地区)
H12.10.31	567ha 10.0%	5,111ha 90.0%	5,678ha 100.0%	第4回見直し
H15.5.9	577ha 10.2%	5,101ha 89.8%	5,678ha 100.0%	保留解除 (相見地区)
H19.4.6	585ha 10.3%	5,093ha 89.7%	5,678ha 100.0%	保留解除 (相見地区)

資料：幸田町の都市計画（平成 21 年 4 月作成）



■市街化区域面積の推移

2. 土地利用

(1) 町全体の土地利用現況

本町の土地利用をみると、住宅を中心とする市街地は町域の中心部に南北に広がり、町域外縁部等に工業用地が配置されています。農地・草地は町域の20.6%を占めており、市街地を取り囲むように配置されています。

森林は43.0%を占めており、市街地や農地をさらにU型に包み込むように配置されています。

農地・草地、森林、水面・河川・水路をあわせた緑の割合は67.0%となっており、周辺市町では岡崎市の73.5%に次ぐ高い割合となっています。

■土地利用面積

種 別	面積(ha)	割合	備 考
農地・草地	1,172	20.6	} 緑の割合：67.0%
森林	2,443	43.0	
水面・河川・水路	193	3.4	
道路	622	11.0	
宅地	657	11.6	・市街化区域面積は585ha (行政区域面積の10.3%)
その他	589	10.4	
合 計	5,676	100.0%	

資料：平成20年版土地に関する統計年報

■周辺都市との土地利用割合比較

区 分	愛知県		岡崎市		西尾市		蒲都市		一色町		吉良町		幡豆町	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
農地・草地	82,446	16.0	3,503	9.0	3,151	41.6	1,013	17.8	796	35.3	1,233	34.3	289	11.1
森林	219,636	42.5	23,325	60.2	251	3.3	1,730	30.4	56	2.5	788	21.9	1,415	54.3
水面・河川・水路	23,978	4.6	1,670	4.3	905	11.9	118	2.1	84	3.7	236	6.6	35	1.3
道路	46,164	8.9	2,253	5.8	1,013	13.4	633	11.1	216	9.6	460	12.8	170	6.5
宅地	91,609	17.7	4,393	11.3	1,733	22.9	1,197	21.1	417	18.5	514	14.3	225	8.6
その他	52,343	10.1	3,580	9.2	525	6.9	991	17.4	684	30.4	367	10.2	471	18.1
合計	516,269	100.0	38,724	100.0	7,578	100.0	5,683	100.0	2,253	100.0	3,598	100.0	2,605	100.0

資料：平成20年版土地に関する統計年報

（２）市街化区域内土地利用現況

本町の市街化区域内の土地利用をみると、自然的土地利用が 14.8%、都市的土地利用が 85.2%となっています。

市街化区域に占める緑の割合は、自然的土地利用 14.8%と公共空地（公園）2.7%をあわせ 17.5%となっています。

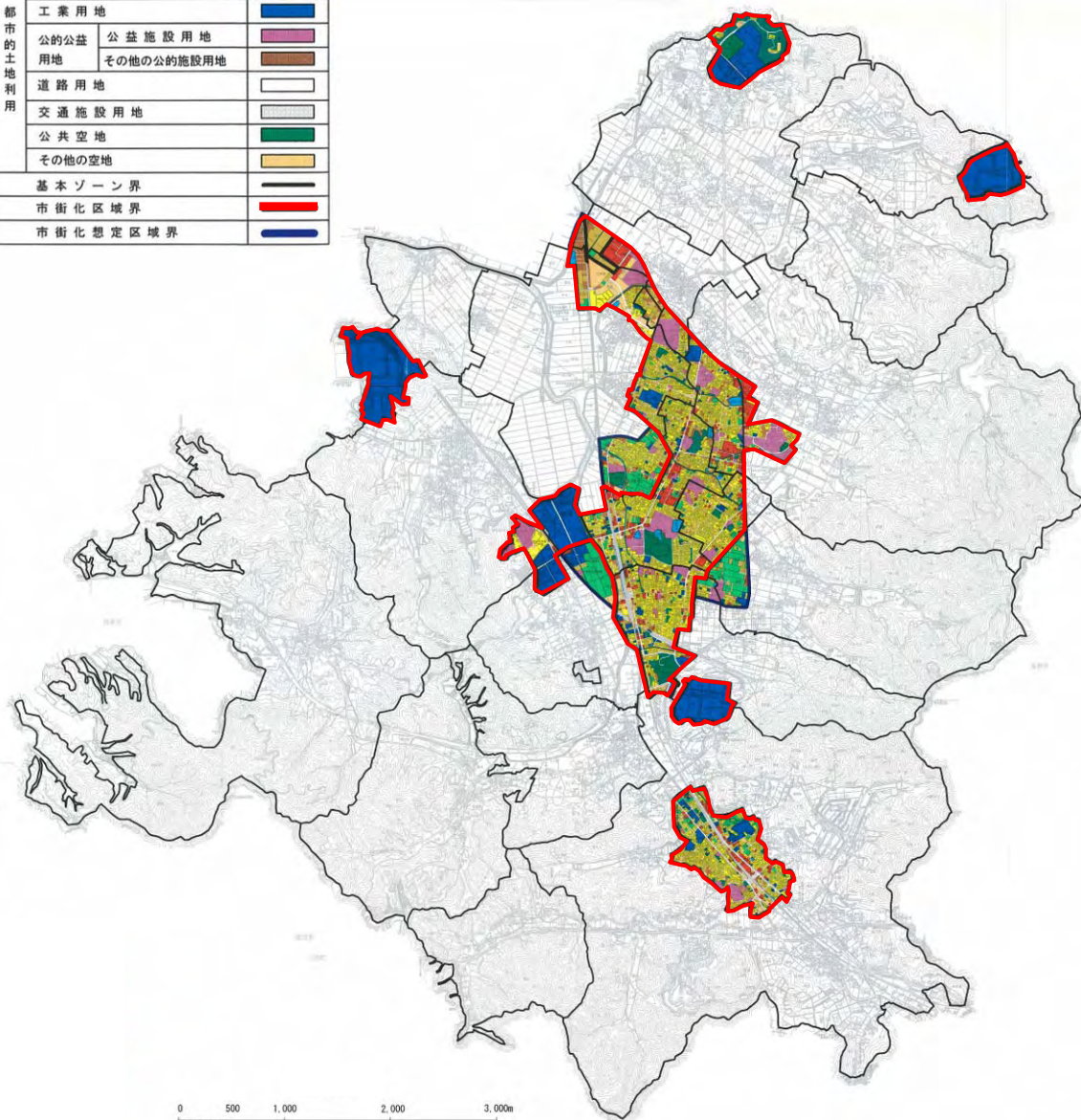
また、市街化区域の農地、山林をあわせたいわゆる都市的未利用地は 9.7%となっています。

■土地利用現況（市街化区域内）

種 別			面積(ha)	割合	備 考
自然的 土地 利用	農地	田	9.64	1.7	} 都市的未利用地 9.7%
		畑	28.22	4.8	
	山林		18.96	3.2	
	水面		9.59	1.6	
	その他自然地		20.16	3.5	
	小計		86.57	14.8	・ 緑の割合17.5%（自然的土地利用＋公共空地）
都市的 土地 利用	住宅用地		162.80	27.7	
	商業用地		28.38	4.8	
	工業用地		140.58	24.0	
	公的・公益用地		43.39	7.4	
	道路用地		75.94	13.0	
	交通施設用地		10.44	1.8	
	公共空地		15.85	2.7	
	その他の空地		22.27	3.8	
	小計		499.65	85.2	
合 計			586.22	100.0%	市街化区域は585ha、都市計画基礎調査の合計面積は586.22haです。

資料：平成 19 年都市計画基礎調査

土 地 利 用 分 類			表示方法
自然的 土地 利用	農 地	田	
		畑	
	山 林		
	水 面		
	そ の 他 の 自 然 地		
都 市 的 土地 利用	住 宅 用 地		
	商 業 用 地		
	工 業 用 地		
	公的公益 用地	公 益 施 設 用 地	
		その他の公的施設用地	
	道 路 用 地		
	交 通 施 設 用 地		
	公 共 空 地		
	その他の空地		
基 本 ゾ ン 界			
市 街 化 区 域 界			
市 街 化 想 定 区 域 界			



資料：平成 19 年都市計画基礎調査（市街化区域想定区域を含んでいます。）

■土地利用現況図（市街化区域内等）

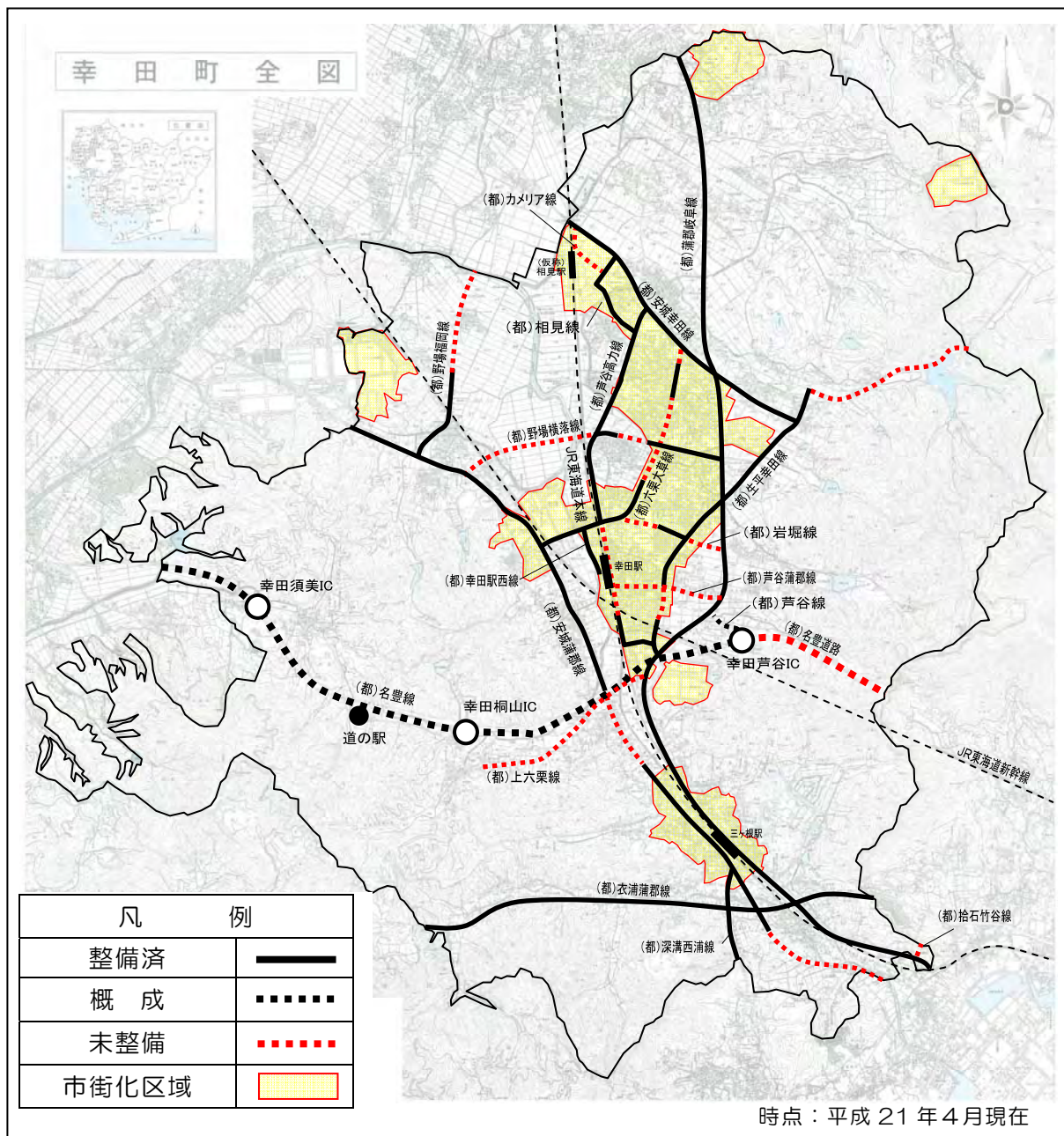
3. 都市施設

(1) 道路

本町の道路網は、(都)名豊線とそれに接続する国道 248 号を主軸に、都市計画道路や県道、その他の町道、農道等により構成されています。

(2) 鉄道

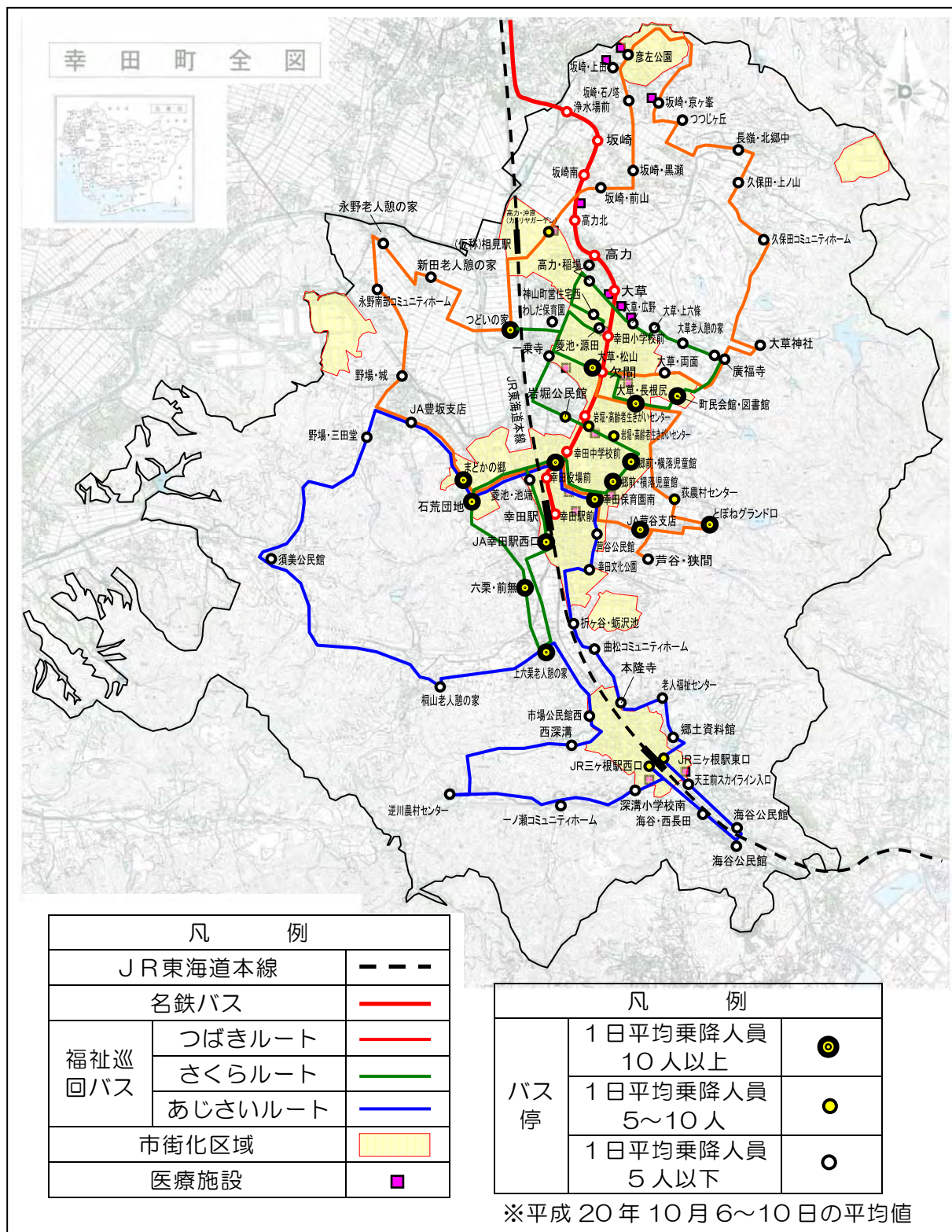
鉄道は、JR 東海道本線が通り、幸田駅、三ヶ根駅が開設され、(仮称)相見駅の計画があります。また、JR 新幹線が通っていますが駅は開設されていません。



■ 交通現況図（都市計画道路）

(3) バス

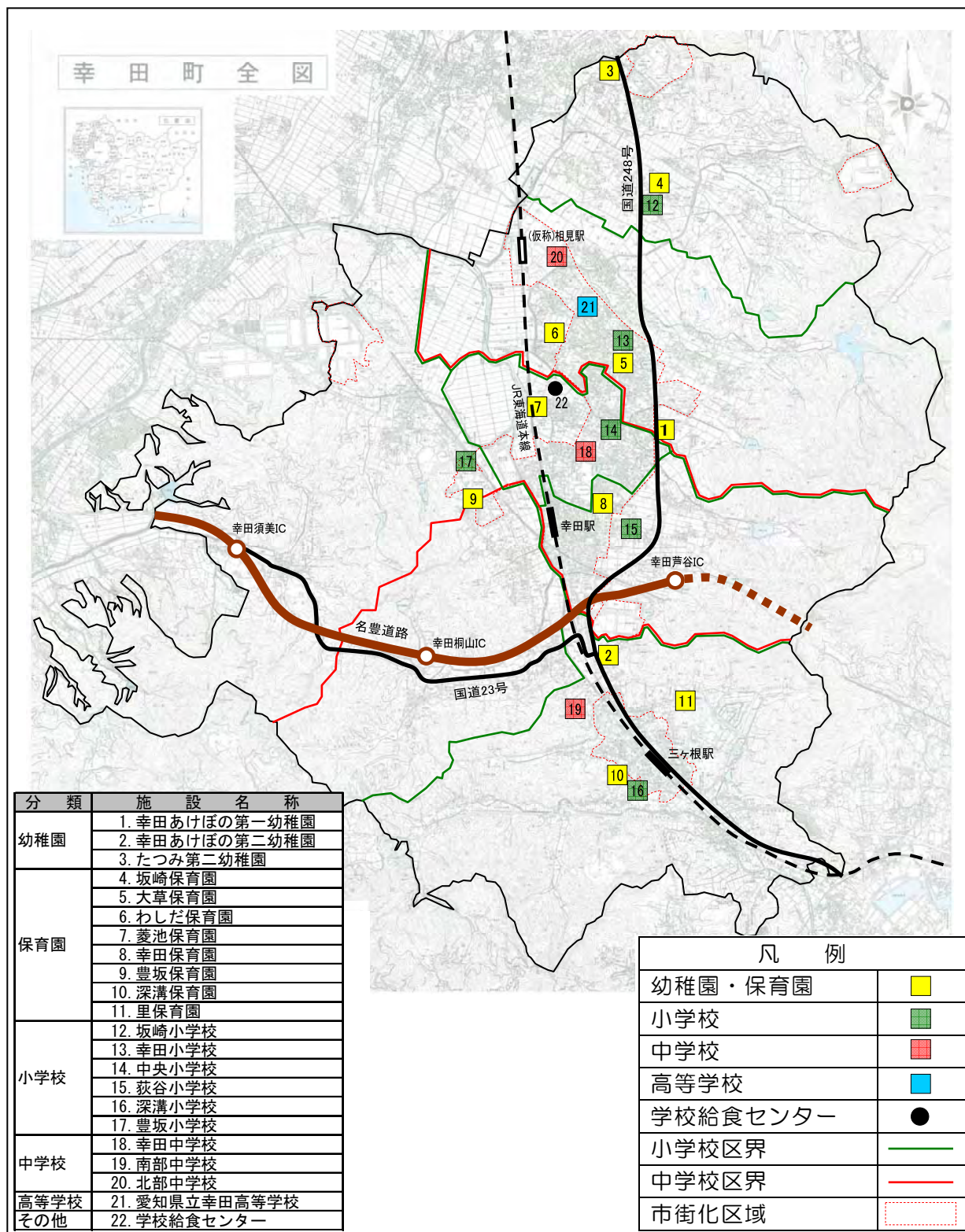
バス路線としては、名鉄バス及び福祉巡回バスがあります。



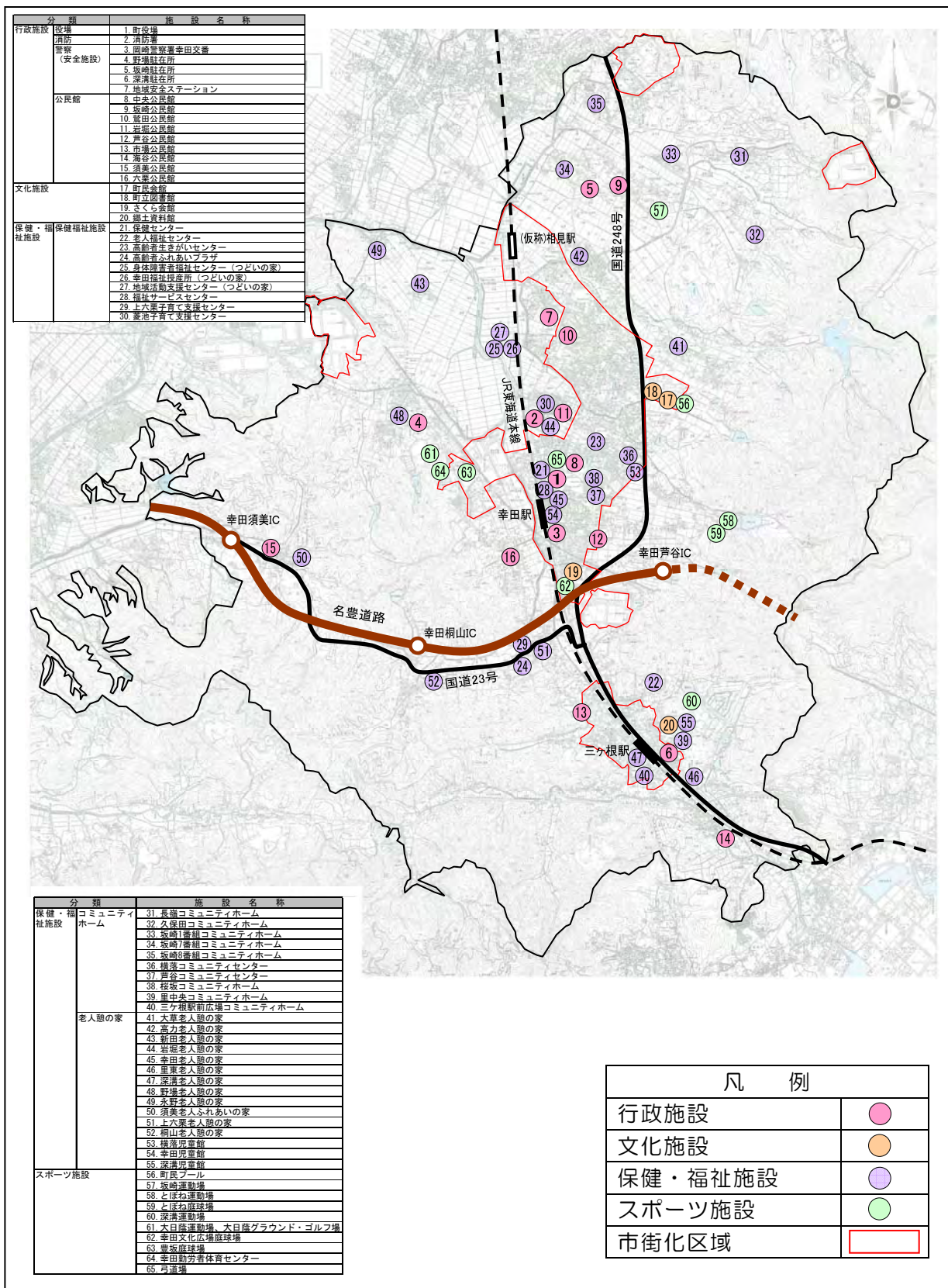
■バス路線図

(4) 公共公益施設

- ・教育施設等は、幼稚園3園、保育園8園、小学校6校、中学校3校、高校1校、学校給食センター1箇所（菱池字桜塚地内）があります。
- ・その他の公共公益施設の配置を次頁に示します。



■ 教育施設等配置図



■ 公共公益施設図

4. 市街地開発事業

本町の市街地開発事業としては、市街地内で土地区画整理事業及び地区計画によるまちづくり、町域外縁部等で工業用地造成事業があります。

